

2023年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年9月12日

上場会社名 SCAT株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3974 URL https://www.scat.inc/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長島秀夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務本部長 (氏名) 西尾 忍 (TEL) 03(5623)9670
 四半期報告書提出予定日 2023年9月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第3四半期の連結業績(2022年11月1日~2023年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第3四半期	2,044	4.1	182	△9.8	183	△8.8	138	69.2
2022年10月期第3四半期	1,962	5.0	202	15.8	201	15.1	81	△33.3

(注) 包括利益 2023年10月期第3四半期 143百万円(77.4%) 2022年10月期第3四半期 80百万円(△33.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第3四半期	44.98	—
2022年10月期第3四半期	19.34	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第3四半期	2,830	1,826	64.5
2022年10月期	3,470	2,177	62.7

(参考) 自己資本 2023年10月期第3四半期 1,826百万円 2022年10月期 2,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	4.00	—	4.50	8.50
2023年10月期	—	4.50	—		
2023年10月期(予想)				6.00	10.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2023年10月期(予想)の期末配当の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当 1円00銭

配当予想の修正については、本日公表の「期末配当予想の修正(記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日~2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,656	2.7	238	6.2	237	6.2	170	69.3	56.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年10月期3Q	5,240,000株	2022年10月期	5,240,000株
2023年10月期3Q	2,480,126株	2022年10月期	1,320,876株
2023年10月期3Q	3,069,820株	2022年10月期3Q	4,218,376株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、社名を2023年5月1日より「S C A T株式会社」に変更し、新たなスタートを切っております。

当第3四半期連結累計期間（2022年11月1日から2023年7月31日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に対する規制緩和により社会活動の正常化に向けた景気の持ち直しの兆しがみられましたが、ウクライナ情勢の長期化、光熱費や原材料価格の上昇による物価高騰など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社のコア事業の属する情報通信業界では、世界的な半導体不足により納期遅延等の影響がみられたものの、国策として推進されているDX（デジタルトランスフォーメーション）を背景に、企業競争力と情報セキュリティの強化、オンラインを前提とした業務改善等のIT活用により、企業のIT投資は中長期的に増加する傾向にあると見込まれております。

当社は、経済産業省より「DX認定事業者」「IT導入支援事業者」に選定され、さらに中小企業の経営力強化を支援する「経営革新等支援機関」の認定により、新たなビジネスの創造とお客様支援に寄与しております。

美容サロン向けICT事業では、提供する製品やコンテンツサービスがIT導入補助金の対象になり、ユーザーのDX化需要に応じております。さらに、2023年10月より導入されるインボイス制度に対応する販売管理システムの需要見込み増など、追い風と言える市場環境が継続しております。これらを背景に、美容サロン向けICTサービスの拡充と業容拡大、DX化システムの充実に伴う自社アプリケーションソフトの機能拡充、及びキャリア人材の採用等の各種施策を進展させ、持続的な成長のための基盤整備に努めております。

中小企業向けビジネスサービス事業では、中小企業支援に関する専門知識や実務経験が評価され、国の認定を受けた「経営革新等支援機関」となりました。これにより、クライアントの経営相談や事業計画の策定及び実行支援等のコンサルティングサービスの案件が徐々に増えております。

介護サービス事業では、新型コロナウイルス感染症の法律上の分類が、季節性インフルエンザと同じ第5類感染症に移行されたものの、引き続き高い緊張感をもって感染症対策を継続しております。特に、介護付き有料老人ホームでは、ご逝去（看取り）による空室が増え、さらに食材や水道光熱費等の高騰により、損益に影響を受けております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高2,044,177千円（前年同四半期比4.1%の増加）、営業利益182,360千円（前年同四半期比9.8%の減少）、経常利益183,408千円（前年同四半期比8.8%の減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益138,080千円（前年同四半期比69.2%の増加）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。なお、セグメント利益は、営業利益に基づいております。

① 美容サロン向けICT事業

美容サロン向けICT事業では、収益の柱をシステム販売（物販）で伸ばしつつ、保守、コンテンツ等の新たな課金型サービスの拡大を進めております。アフターコロナによる経済活動の回復により、販売代理店との同行販売や展示会等も徐々に解禁され営業活動が活性化し、さらに「IT導入補助金の採択率の向上」「インボイス制度対応」「DX推進」の追い風もあり、先行指標である受注は当初見通しを大きく上回る実績と受注残高を確保しております。

システム販売（物販）では、美容サロン向け商品として、ユーザーのカスタマイズ要望にお応えするオンプレミス型POSシステムの「SacLa PREMIUM」と、マルチデバイスでSaaS型システムの「BEAUTY WORKS」の2本の基幹システムを提供しております。

2023年度も「IT導入支援事業者」に継続して選定され、IT導入補助金を活用した「SacLa PREMIUM」の受注が当初見通し以上の実績を継続しております。また、半導体不足に伴う商品品薄により延期していた大口ユーザーの納品が計画的に進み、今期中に納品が完了する見通しとなっております。

美容ディーラー向け販売管理システム「i-SCAP/EX」においては、クラウド型電子請求書発行システム「楽楽明細」を提供する株式会社ラクス（東証プライム：3923）とのアライアンス（販売パートナー契約）により、インボイス制度、電子帳簿保存法に対応した電子請求等のシステム提供を開始しております。これにより美容ディーラーのバックオフィス業務の改善と生産性向上と併せて、販売代理店化に繋げ、新規ユーザー獲得推進による売上も増加しております。

課金型ストックビジネスでは、2023年1月に新コンテンツ「LINEミニアプリ」連携がスタートしたことにより加盟店獲得も順調に進み、これまで課金型ストックビジネス構築を牽引してきたスマホアプリ（Salon Appli）や「Google で予約（Reserve with Google）」、楽天スーパーポイント連携等の、課金型サービスへの拡大を更に加速しております。

また、2023年秋には理美容業界におけるBtoBクレジット決済サービス（キャッシュレス）を、ヘアサロン「モッズ・ヘア」を運営管理する株式会社エム・エイチ・グループ（東証スタンダード：9439）の連結子会社である株式会社ライトスタッフと連携を進めてまいります。

一方、セグメント利益においては、2022年10月期までのコロナ関連助成金等の解消により前年同四半期比で減少しておりますが、当初見通しを上回って着地しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は1,241,447千円（前年同四半期比8.8%の増加）、セグメント利益は130,471千円（前年同四半期比8.8%の減少）となりました。

② 中小企業向けビジネスサービス事業

中小企業向けビジネスサービス事業では、中小企業の経営支援のため、会計・経理業務を中心に各種サービスを提供しております。経済産業省より「経営革新等認定支援機関」に認定され、お客様の経営課題の改善のための経営力向上計画策定や事業再構築支援等のコンサルティングサービスを提供しております。

コア業務の会計サービスは、月次決算等の財務報告を中心に、資金繰りサポートや記帳及び給与計算等の事務代行（BPO）サービスの提供、並びに関連する会計・給与・販売管理ソフトのITシステム運用支援、及びリスクマネジメント（生保・損保代理店業務）を行っております。

これらのサービス提供により既存顧客との関係はより強固なものとなり、さらに紹介パートナー契約企業、地域の金融機関や士業とのアライアンスにより安定した新規取引先の獲得につながっております。

さらに、10月からのインボイス制度の準備として各クライアントへの対応のほか、事業承継支援や認定支援機関としてのコンサルティングの提供など、コンサルティングサービスの拡充に努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は239,840千円（前年同四半期比1.0%の減少）、セグメント利益は11,726千円（前年同四半期比496.0%の増加）となりました。

③ 介護サービス事業

介護サービス事業では、介護付き有料老人ホームを3施設（栃木県佐野市、群馬県館林市、長野県小諸市）及び在宅支援事業（通所介護・短期入所生活介護・訪問介護・居宅介護支援・健康促進事業）を1施設（長野県小諸市）運営しております。

介護付き有料老人ホームでは、新規入居者は例年以上にあるものの、持病悪化によるご逝去や長期入院治療等による退去が重なったことにより空室が増え、また水道光熱費の高騰、食材を含む物価の上昇に伴う経費の増加等により収益に影響がありました。

在宅支援事業では、デイサービスの新規利用者が増えコロナ禍前の稼働率に戻りつつあるものの、ショートステイでは近隣の医療機関や介護施設等においてコロナ感染が断続的に発生しており、他施設の介護サービスを利用しているお客様の動きが停止し、キャンセルが増加するなどの影響がありました。

2022年4月より開始した「助っ人」サービスでは、感染症対策を徹底しながら継続し、地域に認識され業容拡大や潜在的な顧客の獲得に貢献しています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は548,411千円（前年同四半期比3.0%の減少）、セグメント利益は32,866千円（前年同四半期比32.7%の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ625,731千円減少し、1,422,210千円となりました。これは主として、現金及び預金の減少686,707千円、売掛金の増加25,491千円、商品の増加22,688千円によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ14,050千円減少し、1,408,318千円となりました。これは主として、投資その他の資産のその他に含まれる差入保証金の増加40,824千円、ソフトウェアの減少53,227千円によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ262,360千円減少し、393,391千円となりました。これは主として、短期借入金の減少200,000千円、賞与引当金の減少42,616千円によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ26,083千円減少し、611,027千円となりました。これは主として、長期借入金の減少46,260千円、退職給付に係る負債の増加15,579千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ351,336千円減少し、1,826,109千円となりました。これは主として、自己株式の増加462,519千円、利益剰余金の増加106,064千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年12月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つであると認識しており、業績に見合った適正な利益還元を行うことを基本方針としております。また、株主への利益還元機会を充実させることを目的に、年2回の配当（中間配当と期末配当）を実施しております。

当社は、2023年10月期において、商号を「S C A T株式会社」に変更（2023年5月）し、さらに東京本社を東京都港区に移転（2023年10月予定）を予定しております。これもひとえに株主の皆様をはじめ、ステークホルダーの皆様のご支援、ご高配の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様への感謝の意を表するとともに、当社グループのさらなる発展に向けた決意を込めまして記念配当を実施することといたしました。よって、2023年10月期の期末配当金を、2023年7月11日公表の普通配当（1株あたり5円）に、さらに記念配当（1株あたり1円）を実施し、1株あたり6円とする予定です。

以上により、2023年10月期の年間配当金は、前年度年間配当実績8円50銭（中間配当4円、期末配当4円50銭）を2円増配し、1株あたり10円50銭（中間配当実績4円50銭、期末配当予想6円（普通配当5円、記念配当1円））を予定しております。

なお、当社では、剰余金の配当等を取締役会の決議をもって定めることができる旨を定款で定めております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,765,709	1,079,001
売掛金	221,369	246,861
商品	32,734	55,423
仕掛品	5,139	5,938
その他	23,093	35,160
貸倒引当金	△103	△174
流動資産合計	2,047,941	1,422,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,010,678	1,014,401
減価償却累計額	△423,729	△442,035
建物及び構築物(純額)	586,949	572,365
土地	247,101	247,101
その他	165,515	168,457
減価償却累計額	△146,583	△152,371
その他(純額)	18,932	16,085
有形固定資産合計	852,982	835,552
無形固定資産		
ソフトウェア	218,341	165,114
ソフトウェア仮勘定	68,090	99,635
のれん	51,869	40,754
その他	4,659	3,849
無形固定資産合計	342,961	309,353
投資その他の資産		
繰延税金資産	153,262	142,327
その他	89,221	136,965
貸倒引当金	△16,061	△15,881
投資その他の資産合計	226,423	263,411
固定資産合計	1,422,368	1,408,318
資産合計	3,470,310	2,830,528

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	54,794	50,897
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	63,680	61,680
未払費用	113,038	108,894
未払法人税等	27,522	45,138
賞与引当金	80,337	37,721
その他	116,379	89,061
流動負債合計	655,752	393,391
固定負債		
長期借入金	240,200	193,940
役員退職慰労引当金	18,365	16,685
株式給付引当金	21,343	29,576
退職給付に係る負債	326,180	341,760
その他	31,020	29,065
固定負債合計	637,110	611,027
負債合計	1,292,863	1,004,419
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
資本剰余金	338,339	338,339
利益剰余金	2,048,152	2,154,217
自己株式	△403,149	△865,668
株主資本合計	2,183,343	1,826,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,896	△778
その他の包括利益累計額合計	△5,896	△778
純資産合計	2,177,446	1,826,109
負債純資産合計	3,470,310	2,830,528

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年11月1日 至2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年11月1日 至2023年7月31日)
売上高	1,962,932	2,044,177
売上原価	1,119,056	1,221,694
売上総利益	843,875	822,482
販売費及び一般管理費	641,598	640,121
営業利益	202,276	182,360
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	6	6
施設利用料	1,267	1,085
助成金収入	100	3,278
その他	337	1,085
営業外収益合計	1,719	5,463
営業外費用		
支払利息	2,305	1,863
その他	536	2,552
営業外費用合計	2,841	4,415
経常利益	201,153	183,408
特別利益		
助成金収入	13,913	—
固定資産売却益	43,952	—
家賃免除益	—	26,217
特別利益合計	57,865	26,217
特別損失		
新型コロナウイルス関連損失	28,362	—
固定資産売却損	44,902	—
固定資産除却損	0	0
減損損失	56,061	—
特別損失合計	129,326	0
税金等調整前四半期純利益	129,693	209,625
法人税、住民税及び事業税	26,531	62,851
法人税等調整額	21,563	8,693
法人税等合計	48,094	71,545
四半期純利益	81,598	138,080
親会社株主に帰属する四半期純利益	81,598	138,080

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
四半期純利益	81,598	138,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△890	5,118
その他の包括利益合計	△890	5,118
四半期包括利益	80,707	143,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,707	143,198

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年1月10日開催の取締役会決議に基づき、2023年1月11日に東京証券取引所の自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) による買付けを行い、自己株式1,159,400株を取得しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が462,600千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において865,668千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計
	美容サロン向け ICT事業	中小企業向け ビジネス サービス事業	介護サービス 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,140,852	242,351	563,545	1,946,749	—	1,946,749
その他の収益(注)2	—	—	1,637	1,637	14,545	16,182
外部顧客への売上高	1,140,852	242,351	565,182	1,948,386	14,545	1,962,932
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	2,520	2,520
計	1,140,852	242,351	565,182	1,948,386	17,065	1,965,452
セグメント利益	143,017	1,967	48,849	193,834	8,441	202,276

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

(注)2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	193,834
「その他」の区分の利益	8,441
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	202,276

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「その他」セグメントにおける賃貸等不動産及び報告セグメントに帰属しない全社資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「その他」セグメントで3,568千円、報告セグメントに帰属しない全社資産で52,493千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計
	美容サロン向け I C T事業	中小企業向け ビジネス サービス事業	介護サービス 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,241,447	239,840	546,639	2,027,927	—	2,027,927
その他の収益(注)2	—	—	1,772	1,772	14,477	16,249
外部顧客への売上高	1,241,447	239,840	548,411	2,029,699	14,477	2,044,177
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	2,520	2,520
計	1,241,447	239,840	548,411	2,029,699	16,997	2,046,697
セグメント利益	130,471	11,726	32,866	175,063	7,297	182,360

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

(注)2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	175,063
「その他」の区分の利益	7,297
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	182,360

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。